



社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院



病院データ

住所	〒040-8611 函館市五稜郭町38番3号
URL	http://www.gobyou.com/
連絡先(窓口)	臨床研修管理室 古川 真也 0138-51-2295 (代表) 内線5817
病床数	480床
専門研修指導医数	18人
臨床研修指導医数	48人
外来患者数	891人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	387人/日 ※令和4年度(2022年度)実績
給与(月額)	96万円



専門研修プログラム

内科

函館五稜郭病院内科専門研修プログラム

4つの専門内科領域(消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科)での二次医療・高度医療に加え、総合診療科にてコンディジーズ、境界領域の診療経験もでき、一次から高次医療、また急性期から回復期そして地域における在宅支援・地域連携も経験できます。
基幹施設2年間+連携施設・特別連携施設1年間の計3年間で、専門医として必要な知識と技能の修得ができます。

(連携施設)
【大学病院】札幌医科大学附属病院 【病院】函館赤十字病院 【特別連携等】函館市医師会病院

整形外科

函館五稜郭病院整形外科専門研修プログラム

基幹施設はもとより、いずれの連携施設も豊富な症例数を有しており、毎年50-100件以上の手術執刀経験を積むことができます。また執刀した症例は原則として主治医として担当することで、医師としての責任感や、患者やメディカルスタッフなどと良好な信頼関係を構築する能力も育んでいきます。

(連携施設)
【大学病院】大阪大学医学部附属病院、札幌医科大学附属病院
【病院】済生会小樽病院/大阪医療センター/大阪労災病院/JCHO大阪病院/市立吹田市民病院/市立豊中病院/第二大阪警察病院/星ヶ丘医療センター/箕面市立病院/行岡病院/関西労災病院

院長から



院長 中田 智明

1900年の函館慈恵院をルーツとしている当院は道南地域の高度急性期医療・がんの集学的治療を担っている中核病院(地域がん診療連携拠点病院・がんゲノム医療連携病院)です。
医師約120名(初期臨床研修医20名、2023年4月時点)、職員約1,000名で、チーム医療を重視した医療を行っています。大学病院並みの症例数・手術例を有し、研修医や専門医を目指す若い医師にとっても幅広く多くの症例を経験することができます。
PET/CT、ダヴィンチ、カテーテルアブレーションシステム、IVR-CT等、道南随一の最新鋭医療機器を有し、症例カンファレンス・CPC・研修会・モーニングレクチャー等を取り入れ、指導体制の充実にも力を入れています。専門研修は、内科専門医プログラム(4つの専門内科+総合診療科)と整形外科専門研修プログラムを用意しています。
新幹線の通る町、歴史ロマンの町にある、美しい五稜郭公園に隣接した函館五稜郭病院で、医師としてのスタートを切ってみませんか? 諸先輩医師をはじめ職員一同、こころより歓迎致します。

副院長(内科プログラム管理者)から

3年目以降どうしたらいいか皆さん悩まれていることと思います。そこで当院での内科専門研修の長所をいくつか挙げて参考にしてもらえればと思います。(短所は見学なり来て聞いてください。正直に話します。)

- ① 函館で研修できる: 当地函館は北海道においても歴史あり、水産物あり、新幹線もあり、温泉ありただ暮らす以上の楽しさがあります。
 - ② 内科症例が多い: 道南のがん拠点病院であり、各領域のがん患者さんはもちろん血管造影室3室もあり心疾患においてアブレーションはもちろんIVRに対応しており、透析室も独立し存在しています。
 - ③ 初期研修医の存在: 後期で研修するにあたり、少し前の自分つまり初期研修医とともに診療にあたり時に指導し時に一緒に悩み、またある時には一緒に指導医から暖かい激励をもらえます。(初期研修医は1学年10名程度在籍しています。)
- 北海道で多くを学びさらなる大志をもって巣立っていかれる姿を望んでいます。



副院長 矢和田 敦